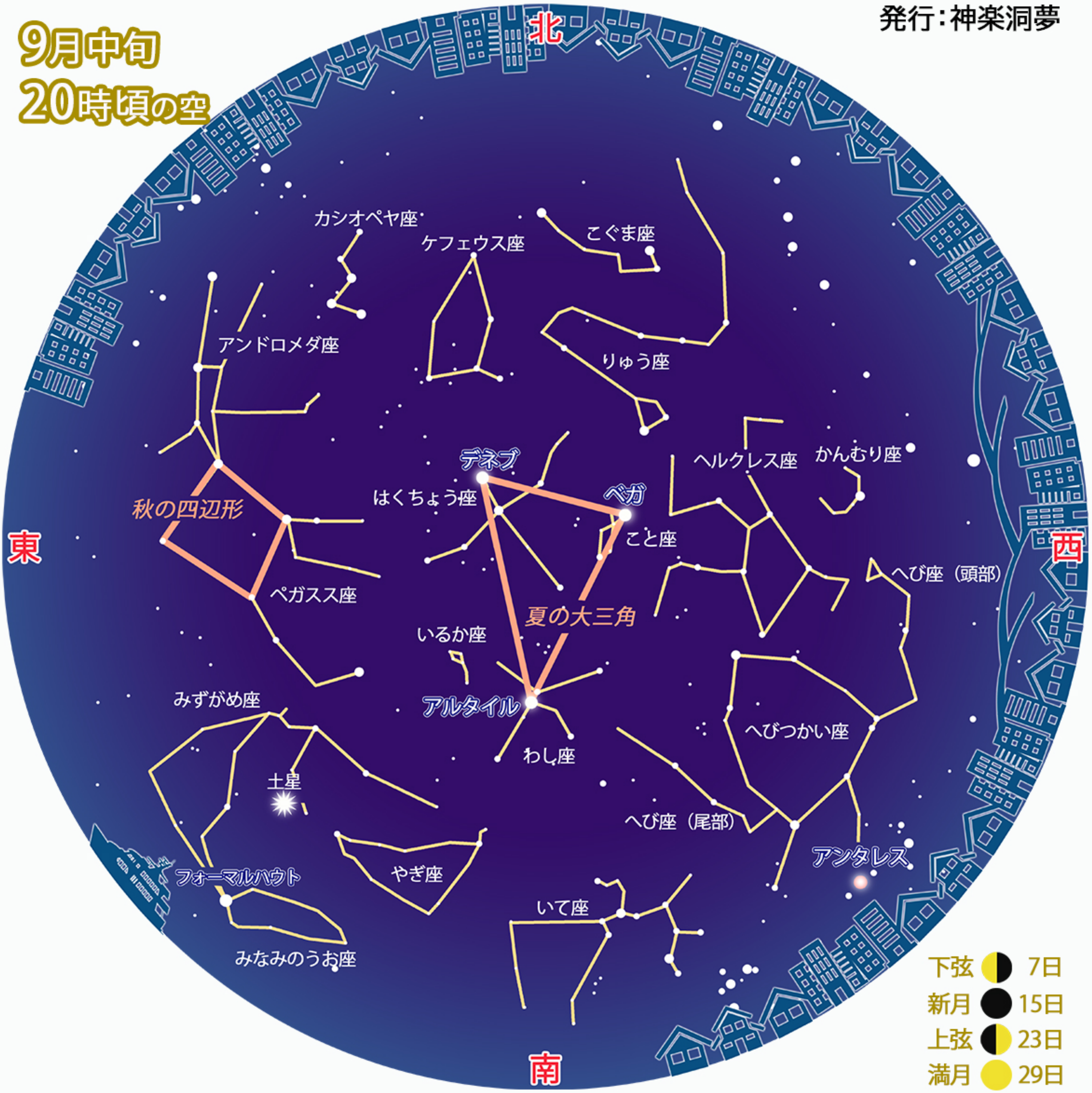
神楽通信 No.91

2023年 9月号

発行：神楽洞夢



9月になると暑さも少し和らぎ、23日には秋分の日を迎え、ここから「秋の夜長」の時季を迎えます。天高くにはまだまだ「夏の大三角」が輝き、スターウォッチングの目印になります。また、29日には南東の空に輝く土星と東から昇りはじめた木星との間に輝く「中秋の名月」を楽しめます。たまには最も身近な天体である月の様子をじっくりと見てみるというのも面白いかもしれません。

21日は南西に見える月に注目！

9月21日に、さそり座の1等星であるアンタレスを月が隠す「アンタレス食」が起こります。当日の津市の日の入り時刻は午後5時53分、アンタレスが月の後ろに隠れる「潜入」は午後5時20分ごろと、アンタレスが隠れる瞬間を見ることは非常に難しいです。
しかし、アンタレスが月の後ろから現れる「出現」は午後6時47分ごろであり、南西の空に見える月から現れるアンタレスの姿を確認することができます。
アンタレスは小さな点に見えるため、出現は一瞬です。そのため、当日観察される場合は予報時刻の少し前から双眼鏡や望遠鏡を使って月の明るい方にご注目ください。

＜三重県津市の予報＞

アンタレスの潜入時刻	午後5時20分ごろ
日の入り時刻	午後5時53分ごろ
アンタレスの出現時刻	午後6時47分ごろ

アンタレス食から感じる宇宙の広さ

月が天体を隠す現象を「星食」といい、黄道付近の恒星でときどき見られます。
「星食」のなかでもっとも有名なのは月が太陽を隠す「日食」でしょう。
今回月に隠されるアンタレスは、非常に年老いた恒星で、星の一生の終末期である「赤色超巨星」という段階にあります。
表面温度はおよそ3000～3500度と太陽の半分ほどであり、赤く輝いて見えます。また非常に大きく膨れ上がっており、直径は太陽のおよそ700倍ほどあると考えられていますが、地球からおよそ600光年以上彼方に輝いているため、小さな点に見えます。
そんな遥か彼方の巨大な星が、地球の4分の1程度の大きさの月の後ろに隠されてしまうというのは、途方もない宇宙の広さを感じてしまいます。

ESOのVLT干渉計で観測されたアンタレス

画像：ESO/K.Ohnaka

Okasan Digital Dome Theater 神楽洞夢 KAGURA DOME
〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
http://kagura-dome.jp TEL. 059-221-3121 FAX.059-226-1565